

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第43回） 議事概要（案）

1 日 時 平成29年5月31日（水）14:00～15:55

2 場 所 合同庁舎2号館 総務省8階 第1特別会議室

3 出席者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査）、足立 朋子、飯塚 留美、小笠原 守、上村 治、小泉 善子、阪田 史郎、佐藤 孝平、田北 順二、橋本 明、松永 彰

[関係者]

石川（日立製作所）、岩根（三菱電機）、菅田（KDDI）、碓（NTT ドコモ）、本多（エリクソン・ジャパン）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中村（裕）、山内、小橋

4 配 付 資 料

資料地-43-1	地上業務委員会（第42回）議事要旨（案）
資料地-43-2	ITU-R SG5 WP5D 第26回会合報告書（案）
資料地-43-3	ITU-R SG5 WP5D 第27回会合への日本寄与文書（案）
資料地-43-4	ITU-R SG5 WP5D 第27回会合への対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG5 WP5D 第27回会合の開催案内
参考資料2	ITU-R SG5 WP5D 第27回会合の日本代表団一覧
参考資料3	地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第42回）議事要旨について

【資料地-43-1】

地上業務委員会（第42回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

（2） ITU-R SG5 WP5D 第26回会合の報告について

【資料地-43-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第 26 回会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 WP5D 第 27 回会合への日本寄与文書（案）について

【資料地-43-3-1】

KDDI 菅田氏から、「WRC19 AI 1.15 の準備のため WP1A からの LS への回答 LS の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 リエゾンは日本として送った方が良いのか。

菅田氏 noteしたという内容を返せば良いのではと考えている。

橋本構成員 “proposal”の最後の記載は“may send”とする方が日本の考えに近くなると思う。

【資料地-43-3-2】

KDDI 菅田氏から、「Working Party 5D における WRC-19 議題 9.1 (Issue 9.1.8) の作業方法に関する考察」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 表現を軟らかくする等の工夫をした方がよい。

三瓶主査 5G時代を見据え、新たにこのような主張が出てきた背景は何か。

菅田氏 途上国にとって、IMT周波数の調和によって機器が安くなることは重要。

【資料地-43-3-3】

KDDI 菅田氏から、「新レポート草案 M.[IMT.EXPERIENCES]への前回寄書に共用／両立性検討情報の追加提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 タイトルは前回寄書への追加というより前回のoutputに「改めて提案する」という表現の方が一般的なのではないか。

菅田氏 「Annex4へ追加する」のように明示したい。

【資料地-43-3-4】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案[IMT.BY.INDUSTRIES]へ向けた作業文書への追加テキスト提案「産業セクターによる IMT 地上コンポーネントの使用」」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-43-3-5】

三菱電機岩根氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.EVAL]の高速移動試験環境設定に関する修正提案」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 共同で寄書を出せるようになったポイントは何か。

岩根氏 中国側が、新たな評価条件を追加しないことを自主的に申し出てき

たため。

【資料地-43-3-6】

エリクソン・ジャパン本多氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.EVAL]および新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.SUBMISSION]のための評価構成」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 提案の背景として、分類、表の数が増えたのか。

本多氏 パラメータ、すなわち評価対象が増えた。

【資料地-43-3-7】

日立製作所石川氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.EVAL]のための評価手法及び構成関連残存課題に対する提案」について説明があり、特段のコメントなく承認された。

【資料地-43-3-8】

日立製作所 石川氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.EVAL]のための評価手法及び構成」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

足立構成員 UL を必須、DL をオプションにする理由は何か。

石川氏 ULの方が、送信電力が小さく誤り率等が大きくなることが予想される。ULの方が厳しい条件という考え方による。

【資料地-43-3-9】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.SUBMISSION]の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 チャンネルタイプのスケーラビリティはどのようになっているのか。

本多氏 要求条件的には最低 100MHz 幅。6GHz 以上については、1GHz 幅までとれることになっている。

【資料地-43-3-10】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.SUBMISSION]の帯域幅および周波数適合テンプレートへの修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 帯域幅について中国と合意できなかった経緯は何か。

本多氏 中国から、100MHz以上、100MHzステップという条件があれば、最大1GHzという条件は不要という意見が出された。

【資料地-43-3-11】

NTT ドコモ 剛氏から、「勧告 ITU-R M.1036 に関する見解」について説明が

あり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 勧告のスコープを参照して議論するよりも、支持国を増やしていく方針が良いだろう。中国や韓国はどのように考えているのか。

碓氏 周波数関係は、各国の政策に依存するところがあるので共同は難しい。両国とも、特段の意図はないというのが現状のようだ。

三瓶主査 自由度を持ちたいという観点からアレンジメントを作らないという考え方と、マーケットを創出していくという観点から作るという考え方、そのせめぎあいなのか。

碓氏 どちらが良いという結論は出ていない。各国の意見をよく聞きながら、合意形成していきたい。

#### 【資料地-43-3-12】

NTT ドコモ 碓氏から、「勧告 ITU-R M.1036-5 改訂における L-band FDD アレンジメントの修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

上村構成員 UAE に同意することには異論ないが、3GPP での議論が延期になったため、UAE が提案を引き戻すかもしれない。その場合の想定も必要。

碓氏 仮に 5D でも MSS 共用検討結果を待ったほうが良いという意見が多ければ、日本の意見は表明しつつ、作業文書として残すようにしたい。

#### 【資料地-43-3-13】

NTT ドコモ 碓氏から、「WRC-19 議題 9.1.2 の 1452-1492MHz の IMT/BSS 共用検討に関する提案」について説明があり、特段のコメントなく承認された。

#### 【資料地-43-3-14】

NTT ドコモ 碓氏から、「タスクグループ 5/1 から求められた情報に対する考察」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

足立構成員 途中で切れている文がある。

碓氏 修正する。

橋本構成員 不要発射レベルは、WRC 決議 750 を引用しながら説明出来ると説得力が増すだろう。

三瓶主査 屋内基地局の設置密度として、3.5GHz 帯基地局数を用いることは妥当か。

碓氏 トラヒックが高い大規模な施設数と一致するという仮定をおいている。

#### 【資料地-43-3-15】

KDDI 菅田氏から、「回章 5/LCCE/59 の追補版 3 の案」について説明があり、

特段のコメントなく承認された。

【資料地-43-3-16】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT-2020.EVAL]の修正」について説明があり、特段のコメントなく承認された。

(4) ITU-R SG5 関連会合への対処方針案について

【資料地-43-4】

事務局から、ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、近日中に事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上